



議決採決 議長決着

平成28年度一般会計予算

＝賛成・反対同数＝

特集:Vol.3

注) 修正案の内容
予算のうち「農水産物流通・加工・観光拠点施設事業費」
にかかる予算のみ、全額減額にする予算案。

修正案に反対



上里善清 議員

平成27年度は、3億4千万円余りのが執行されている。全会一致で賛成したものであり、本来ならばその時に否決するべきで、整合性に欠けていると思います。
執行部との話し合いが密でなかったことは反省点ではあるが、昨年可決したものを今否決することは、全く整合性に欠けている。

儀間信子 議員

昨年3月の平成27年度一般会計や平成27年度繰越明許費を全会一致で通した事は、本事業を議会が承認したものと考え、修正案に対して矛盾を感じる。繰越事業としての期間が限られ、用地交渉で地権者に迷惑がかかる。又、予算執行が出来なければ、単独予算で執行しなければならぬ問題も生じる。この事業は大規模MICE施設と関連した観光を見据えた事業であり、今後の町の発展を担う起爆剤と考え、大いに期待できる。

呉屋悟 議員

行政の情報不足で生じた問題で、14億5千万円という事業であるにも関わらず、会期中に急な提示で、時間も無い状況で議決してくれというのが現状である。また、厳しい日程の中、事業は進み、繰越した3億2千万円の事業もどうしていくのかわからない状況で修正をかけた場合、事業が頓挫しかねない事を指摘する。当局もしっかりと説明責任を果たしていく旨であり、修正ではなく、附帯決議に盛り込んで十分可能だったと思う。

大城誠一 議員

これまで予算を認めてきたという事は、事業に賛成、しっかりやりなさいと言う事。一括交付金を活用すると、それなりの規模の施設をつくれる。MICE関連の客を集客する施設が必要である。
情報開示がなされないと、町民の声に答えられないジレンマもわかります。約14億円のうち、町負担は約2億8千万円です。2億8千万円では、この規模のものをつくれないのです。赤字や補填もありますが、我々も一生懸命考えなければいけません。

与儀清 議員

14億円と申しますが町が負担するのは2億8千万円です。2億8千万円の投資で14億円の資産を町民は得るのです。反対意見を出すのなら十何億円なら反対、それなら十何億円なら賛成なのかを聞きたい。どこにもあるものだったら、どちらかといえばつくらない方がいい。採算性を考えたときに、小さく小さくではなく、お客さんを引っ張るためには、大きく素晴らしい。

伊計裕子 議員

行政側からの情報不足により信頼感がなくなってしまうことが大きい。情報開示しながら、議員達の意見も取り入れてもらうようにしようという話だったと思います。修正案が可決してしまうと工事が出来なくなり、結局白紙撤回と同じことになってしまっています。事業そのものがなくなってしまう事を考えていただきたい。

喜納昌盛 議員

規模や予算等は妥当で、欲を言えば熟慮して増やしてもいいのかという思いである。耕作放棄地対策を率先してやってきたこと、MICE施設が建設されることを考えると、農業や観光に関する施設が無い。今回はそれが出来る、一括交付金事業は後5ヶ年しかなく待たないである。
町役場を中心とした地域が活性化すれば、波及する事は間違いないと思います。町当局のみならず、議員も強く発信すべき。

修正案に賛成



与那嶺義雄 議員

基本的には必要な施設と考える。しかし、計画に問題がある。以前にも2億円余りの予算返還や当初、新聞報道であった7億円から14億5千万円に膨れ上がった。
指定管理者もJAに決まったようになっていて。JAにとつて、町が税金を使い、任せるという事はありがたい話である。貧困や教育・福祉といった問題がある中、2ヶ年分の一括交付金を施設に使う事が問題。財政が厳しい中で、町民は納得しません。

長浜ひろみ 議員

14億円の施設をつくるのに、町負担が2億8千万円、町民意識からは高額である。MICE施設からのルートも何も無いし、イベントをしようと言っているがどんなイベントかもわからない。以前一括交付金で作ったハコモノが、北中城村で閉鎖し、衝撃が走った。その分析はしたのか。水産物、漁業は盛んだったのか。当局からも、議会の質問でも聞いたことはない。そういう事から2億8千万円の負担について説明がしにくい。非常に不安である。

伊波時男 議員

執行部から提示された事業費14億5千万円について我々は、考えなければならぬ。町民に代わり判断を執行部がやるのか、議員がやるのか。しっかりと考えて判断しなければ財政は幾らあっても足りない。直売所だけでは作れないので観光施設を持つてきて、予算が膨れた。その中身を精査する必要がある。町民の税金、法人税や個人事業主の税金を運用していく施設なので。町民が納得するように議論するために修正が必要。

大城好弘 議員

いま一度、しっかりと議論していく時間が必要であると考えられる。3月10日に青写真が出され、敷地に農協施設が配置されている事に驚いた。こういう事は、議会で決める事で、なぜ先行してJAに指定管理という話を持ち上がったのか。又、資料館等の施設についても説明不足でこういう問題が起きています。賛否ではなく、議会や町民に説明すれば理解を得られるし、惜しまず協力もする。そうする事で、成功すると考える。

宮里芳男 議員

議員に資料提供が遅れたが、MICEとの絡みで、内閣府もすぐ期待していると思う。それを踏まえ、西原町が今やろうとしている施設は、待ったなしの事業であると考えられる。用地交渉が進んでいる方もいる、すぐにでも交渉に入りたいという事から、瀬戸際のところまで来ている予算執行だと思ふ。当局の皆さんが予算を組んできた努力をくみ取ってあげないといけない。

外反対議員 前里光信 議員

真栄城哲 議員

廃止すべきと考える。再三一般質問で取上げてきたが、計画が全く見え、危惧していた。委員会の中で副町長もそれを認め陳謝した。これだけの大金を投じての事業だけに、町民に対して説明が出来ない。予算を認めた矛盾について。人は過ちを犯す、それに気づいた時、一度踏み止まるか、過ちを隠し突き進むか、英断が必要になる。町民に説明出来るなら賛成するが、又トップをかけるのも議会の役割だと考える。

宮里洋史 議員

事業がここまで来ているとか、用地を説明しているとか、一括交付金を消化しないといけないとかではなく、事業自体の話をするべきである。直売所が必要だったが一括交付金が活用できなかったから観光拠点施設を加えた。本当にその場所に需要が見込まれるなら、民間も投資しているし、農協も直売所をつくっていたはず。私は町民に説明が出来ません。反対する方々は、農協の為に施設をつくるのか、JAありきでつくるのかと。この事業自体に反対です。

外賛成議員 屋比久満 議員

大城純孝 議員
仲松勤 議員